

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3815108	海外語学研修 Study abroad	国際交流委員		専門	2	選択	1.2前期

科目の概要

この授業では、海外の大学・語学学校等で語学研修に参加する学生を対象に、留学先の選び方、海外での授業の受け方、現地での生活についての情報や認識を深めるための実践的な対応を学ぶ。その事前指導を受け、なおかつ二週間以上の海外語学研修を修了した学生にのみ単位を出す。海外留学の経験を通して、建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力を身に付け、更に潜在能力開発にも努めてほしい。

学修内容	到達目標
① 海外で語学研修をうけるのに必要なことを学ぶ。 ② 渡航手続きをする。 ③ 現地の文化と生活のマナーを学ぶ。 ④ 海外にて語学研修を修了する。 ⑤ 帰国後、留学中の学修についてのレポートを作成する。	① 留学に必要な知識を理解できる。 ② パスポートの申請と渡航先の学校への申し込みができる。 ③ 海外生活で必要なマナーを理解できる。 ④ 語学研修修了書を受けとり帰国する。 ⑤ 海外での学修効果を手に入れることができる。

学生に發揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	留学という目的に向かって、学校選びから、現地への渡航、語学研修を達成することで、自分で考え行動することができる。
	働きかけ力	
	実行力	海外で、困難があっても生活をして、修了書を授与することができる。
考え方抜く力	課題発見力	
	計画力	留学体験を通して、語学や異文化理解に関する課題を発見することができる。
	創造力	海外生活を通して、さまざまな角度から物事を考えることができる。
チームで働く力	発信力	留学時に、外国語で自分の意見を言うことができる。
	傾聴力	留学時のグループレッスンで外国語での他者の発言を聞き取り、自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	渡航や留学の手続きやスケジュール管理を通して、日程をたて、計画通りに物事をやり抜くことができる。留学先の学校での成績証明書をもって帰国することができる。遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができます。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし

参考文献：授業内でプリント等を適宜配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：留学先の言語科目、国際交流フィールドの科目を履修していることが望ましい。

資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
留学するという意志をしっかりともっていることが大切である。 留学に関する情報と、自分が行きたい国に関する情報をできるだけ多く集めてください。	研修先では、日本人としての恥ずかしくない行動をしてください。 遊び感覚では海外語学研修に参加しないでください。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	0	①	
			②	
			③	
			④	
			⑤	
	小テスト	0	①	
			②	
			③	
			④	
			⑤	
	レポート	90	①	
			②	
			③	
			④	✓
			⑤	✓
	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①	
			②	
			③	
			④	
			⑤	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓
			②	✓
			③	✓
			④	
			⑤	
	総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 海外での語学研修先の日程をすべて終えて成績がAで、提出したレポートには留学先での授業や学んだこと、事前にたてた目標と事後の達成について分かりやすくまとめられている場合にはA。 海外での語学研修先での日程をすべて終えて成績がAで、提出したレポートの内容に、上記に加えて、反省点や課題などが明記され、どのように問題を解決したのかが分かりやすくまとめられている場合はS。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外での語学研修先での成績がBで、レポートの内容が、事前にたてた目標と事後の達成についてまとめられている場合はB。 海外での語学研修先での成績がCで、レポートの内容に上記のものが含まれていない場合はC。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 海外語学研修の意義と目的について学ぶ。	講義	・語学研修の意味と目的が明白である。	(復習)各自留学先の情報を集め (予習)留学先を決める。	120	主体性 実行力 創造力 傾聴力
2	留学先を決める。自分の興味と習得したい言語と住んでみたい国を探す。	講義 留学先を決めたら理由と報告する。留学先についての検討のフィードバックをする。 ディスカッション	現地の学校のカリキュラム、宿泊形態、期間の確認をする。	(復習)留学先の再検討をする。 (予習)留学先の国と学校の情報を集める。	120	主体性 実行力 規律性
3	申し込みの手続きをする。語学学校を選び、必要な書類を確認して日程をたてる。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	パスポートの準備と願書の記入、航空券の予約をする。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	留学 現地にて語学研修	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 傾聴力 規律性
5	留学 現地にて語学研修。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
6	留学 現地にて語学研修。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	120	主体性 実行力 発信力
7	留学 現地にて語学研修。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 発信力 傾聴力
8	現地で定められた予習・復習を行う。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 発信力 規律性

能力名 : 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	留学 現地にて語学研修。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力
10	留学 現地にて語学研修。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 発信力
11	留学 現地にて語学研修。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力
12	留学 現地にて語学研修。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 発信力
13	留学 現地にて語学研修。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力
14	留学 現地にて語学研修。	講義・演習フィードバックについては現地の学校にまかせる。	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	現地で定められた予習・復習を行う。	120	主体性 実行力 発信力
15	帰国後の報告会をする。現地での研修内容に関するレポートを提出する。修了書を提出する。研修を振り返り将来への参考にする。	講義 各自留学の報告をして、それについてのフィードバックをする。 ディスカッション	レポート提出 修了書提出	(復習)海外語学研修で得たことをまとめる。 将来への糧とする。	120	主体性 実行力 規律性

能力名 : 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 倾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力